

職業実践専門課程の基本情報について

| | | | | | | |
|-----------------------|---|-------------------|---|--|------------------------|----------|
| 学 校 名 | 設置認可年月日 | 校 長 名 | 所 在 地 | | | |
| 専門学校共生館国際 福祉医療カレッジ | 平成10年3月31日 | 今井 照男 | 〒830-0033 福岡県久留米市天神町3-82-2 (電話) 0942-38-0200 | | | |
| 設 置 者 名 | 設立認可年月日 | 代 表 者 名 | 所 在 地 | | | |
| 学校法人久留米ゼミ ナール | 昭和52年6月1日 | 今井 正雄 | 〒830-0033 福岡県久留米市天神町2-56 (電話) 0942-35-4970 | | | |
| 目 的 | 社会福祉士受験資格取得(実務経験要1年)の為の指定科目履修を行い、高い専門性を有した福祉専門職の養成を行う。また、社会人としての人間力向上の為、独自のマナー教育を行い、向上心と協調性あふれ、広く社会に貢献できる人間性豊かな人材を育成する。 | | | | | |
| 分野 | 課程名 | 学科名 | 修業年限 (昼、夜別) | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 専門士の付与 | 高度専門士の付与 |
| 教育・ 社会福祉 | 社会福祉 専門課程 | 社会福祉学科 | 3年(昼) | 2430 単位時間 (又は単位) | 平成22年文部科学 大臣告示第152号 | — |
| 教育課程 | 講義 | 演習 | 実験 | 実習 | 実技 | |
| | 2100単位時間 (又は単位) | 270単位時間 (又は単位) | 0単位時間 (又は単位) | 180単位時間 (又は単位) | 240単位時間 (又は単位) | |
| 生徒総定員 | 生徒実員 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | |
| 120人 | 36人 | 7人 | 15人 | 22人 | | |
| 学期制度 | ■前期：4月1日から9月30日まで ■後期：10月1日から3月31日まで | | 成績評価 | ■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 前期・後期試験、実習の成果等を総合的に勘案して優、良、可、不可の成績評価を行い、可上を合格とする。 | | |
| 長期休み | ■学年始め：4月1日 ■夏 季：8月6日～9月10日 ■冬 季：12月23日～1月11日 ■学 年 末：3月31日 | | 卒業・進級条件 | 所定の修業年限在学し、所定の時間数以上を修得した者。 | | |
| 生徒指導 | ■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 定期家庭連絡、三者面談 | | 課外活動 | ■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動 (有・無) | | |
| 就職等の状況 | ■主な就職先、業界等 社会福祉施設、児童施設等 ■就職率 ^{*1} 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{*2} 20.0% ■その他(任意) (平成27年度卒業者に関する平成28年3月時点の情報) | | 主な資格・検定 | 社会福祉主事任用資格 社会福祉士国家試験受験資格(卒業後実務経験必要) レクリエーション・インストラクター 初級障害者スポーツ指導員 | | |

| | |
|----------------|---|
| <p>中途退学の現状</p> | <p>■中途退学者 1名 ■中退率 2.7%</p> <p>平成 28年 5月 1日在学者 37名 (平成 28年 4月入学者を含む)</p> <p>平成 29年 2月 8日在学者 36名 (平成 29年 3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由 進路変更</p> <p>■中退防止のための取組 担任制度によるきめ細かな心情(身上)把握と面談・指導</p> |
| <p>ホームページ</p> | <p>URL:http://www.kyoseikan.com</p> |

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

福祉、医療、社会保障、心理学（児童・障害児）等のカリキュラムにより、福祉・医療全般に関する広い知識を習得するとともに、福祉・医療業界の動向や求められる知識レベルを把握する為、医療機関や社会福祉施設等との連携を図ることで、現場の求めるニーズを確実に捉え、本校の授業内容やカリキュラムに反映する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 28 年 8 月 10 日現在

| 名 前 | 所 属 |
|--------|--|
| 田中 達也 | 福岡県大野城市障害者施設団体連絡協議会監事 福岡県那珂川町障害者施策推進協議会委員 社会福祉法人 福岡コロニー 福岡県障害者就労支援ホーム あげぼの園 管理者 【社会福祉学科】 |
| 城戸 顕 | 社会福祉法人 福岡コロニー 福岡県障害者就労支援ホーム あげぼの園 サービス管理責任者 【社会福祉学科】 |
| 音成 龍司 | 久留米大学医学部臨床教授 一般社団法人 日本神経学会専門医 医療法人 音成クリニック 理事長、診療所所長 【医療ビジネス科】 |
| 音成 玲子 | 医療法人 音成クリニック 幹事、診療所事務長 【医療ビジネス科】 |
| 今井 照男 | 学校法人 久留米ゼミナール 副理事長 専門学校 共生館国際福祉医療カレッジ 学校長 |
| 小川 一行 | 専門学校 共生館国際福祉医療カレッジ 教務部長 |
| 出口 開 | 専門学校 共生館国際福祉医療カレッジ 社会福祉学科 教員 |
| 社方 めぐみ | 専門学校 共生館国際福祉医療カレッジ 総務（事務局） |
| 諫山 忠司 | 専門学校 共生館国際福祉医療カレッジ 総務（事務局） |

(開催日時)

2回/年間を基準とする

第1回 平成28年 8月10日(水) 15:00~15:30

第2回 平成29年 2月 8日(水) 15:00~15:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

本校で学んだ学習内容の実践として、企業等における現場実習を配置していることから、学校と福祉現場の相互の基本理解の基に社会福祉援助技術現場実習を実施する。

この際、社会福祉援助技術現場実習（1年次：13日間以上且つ100時間以上及び2年次：10日間以上且つ80時間以上）により、合計：23日間以上且つ180時間以上の実践的な実習を行うことから、平素からの各実習施設との有機的な連携をもとに、特に実践的かつ専門的知識・技術を習得する。

| 科目名 | 科目概要 | 連携企業等 |
|-------------------|---|---|
| 社会福祉援助技術 現場実習Ⅰ | 相談援助実習の実践を社会福祉施設等の現場で行い、実践的な技術・知識の修得を行っていく。 | 有限会社エスピーライフ デイサービスセンターあいあい、特別養護老人ホーム玖珠園、社会福祉法人学正会 特別養護老人ホームよのもと、社会福祉法人多聞福祉会 特別養護老人ホーム彌栄苑、社会福祉法人拓く 出会いの場ポレポレ 他 |
| 社会福祉援助技術 現場実習Ⅱ | 相談援助実習の実践を社会福祉施設等の現場で行い、実践的な技術・知識の修得を行っていく。 | 総数 15 施設 |

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

日本精神保健福祉士学会において、先進的な研究や実践等を行っている全国の精神保健福祉士と交流して、国の施策動向や最新の実践情報を収集し、その内容を教員・職員間で共有し、学生に還元している。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 28 年 8 月 10 日現在

| 名 前 | 所 属 | 任期 |
|--------|--|-----|
| 田中 達也 | 福岡県大野城市障害者施設団体連絡協議会監事、 福岡県大野城市障がい者自立支援協議会ネットワーク会 議委員 福岡県那珂川町障害者施策推進協議会委員、 社会福祉法人 福岡コロニー 福岡県障害者就労支援ホーム あけぼの園 管理者 【社会福祉学科】 | 2 年 |
| 城戸 顕 | 社会福祉法人 福岡コロニー 福岡県障害者就労支援ホーム あけぼの園 サービス管理責任者 【社会福祉学科】 | 2 年 |
| 音成 龍司 | 久留米大学医学部臨床教授 一般社団法人 日本神経学会専門医 医療法人 音成クリニック 理事長、診療所所長 【医療ビジネス科】 | 2 年 |
| 音成 玲子 | 医療法人 音成クリニック 幹事、診療所事務長 【医療ビジネス科】 | 2 年 |
| 田中 明美 | 専門学校 共生館国際福祉医療カレッジ 在校生 保護者 【社会福祉学科】 | 2 年 |
| 梅田 慎子 | 専門学校 共生館国際福祉医療カレッジ 在校生 保護者 【医療ビジネス科】 | 2 年 |
| 齊藤 旭 | 専門学校 共生館国際福祉医療カレッジ 卒業生 【社会福祉学科】 | 2 年 |
| 矢羽田 早紀 | 専門学校 共生館国際福祉医療カレッジ 卒業生 【医療ビジネス科】 | 2 年 |
| 今井 照男 | 専門学校 共生館国際福祉医療カレッジ 事務局 | 2 年 |
| 小川 一行 | 専門学校 共生館国際福祉医療カレッジ 事務局 | 2 年 |
| 出口 開 | 専門学校 共生館国際福祉医療カレッジ 事務局 | 2 年 |
| 社方 めぐみ | 専門学校 共生館国際福祉医療カレッジ 事務局 | 2 年 |
| 諫山 忠司 | 専門学校 共生館国際福祉医療カレッジ 事務局 | 2 年 |

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.kyoseikan.com>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.kyoseikan.com>

授業科目等の概要

| (社会福祉専門課程社会福祉学科) 平成 28 年度 | | | | | | | | | | |
|---------------------------|------|------|---------------|---|---------|------|-----|------|----|----------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | |
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 |
| ○ | | | 社会福祉原論 | 現代社会における福祉制度・政策の意義、課題理解と福祉政策の構成要素並びにそれに伴う社会福祉を捉えていく理論について学ぶ。 | 1通 | 60 | | ○ | | |
| ○ | | | 老人福祉論 | 高齢者についての身体的・心理的理解を深め、現代の高齢社会を概観し現代社会の現状を把握する。また高齢者福祉の制度・介護保険制度に対する基本的知識を習得する | 1通 | 60 | | ○ | | |
| ○ | | | 障害者福祉論 | 障害者自立支援法並びにその他障害者各関係法・制度の理解と障害者の実態を理解する。 | 1通 | 60 | | ○ | | |
| ○ | | | 児童福祉論 | 児童・家庭の実態を把握し、児童・家庭に対する支援を理解する。また、児童・家庭福祉に係わる法・制度についても理解を行う。 | 1前 | 30 | | ○ | | |
| ○ | | | 心理学 | 社会福祉援助を行う対象者となる人間の心理学理論による理解と、人の成長・発達の実態を理解を行うことで、心理的支援の方法について学ぶ。 | 1後 | 30 | | ○ | | |
| ○ | | | 医学一般 | 体のしくみ及び病気の成り立ち、症状の理解。 | 1前 | 30 | | ○ | | |
| ○ | | | 保健体育・レクリエーション | レクリエーションインストラクターの役割についての基本的理解。 保健体育・レクリエーションの基礎的理論・知識及び技術の会得、活用することによる効果の理解。 | 1通 | 60 | | △ | | ○ |
| ○ | | | 社会福祉援助技術論Ⅰ | 援助技術の史的展開をふまえ、現在における社会福祉援助活動の概念や意義、体系や内容を理解し、人権の尊重や自立支援の視点からの援助のあり方を理解する。 | 1通 | 60 | | ○ | | |
| ○ | | | 社会福祉援助技術演習Ⅰ | 相談援助の知識と技術を実践的に学び、さらに社会福祉士に求められる専門的援助技術として、概念化し理論立てていくことができる能力を養う。 | 1通 | 90 | | | ○ | |

| | | | | | | | | | |
|---|--|-----------------|---|----|-----|--|---|---|---|
| ○ | | 社会福祉援助技術現場実習Ⅰ | 相談援助実習の実践を社会福祉施設等の現場で行い、実践的な技術・知識の修得を行っていく。 | 1後 | 100 | | | | ○ |
| ○ | | 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ | 相談援助実習の意義について理解を行い、社会福祉士として求められる能力を涵養し、実践的に現場で求められる技術・知識を修得する。 | 1通 | 60 | | △ | ○ | |
| ○ | | 介護概論 | 高齢者特有の身体的精神的機能の理解に努めさせると共にそれに伴う障害への対処方法、介護技術の習得、事故防止・予防を行い又、介護保険制度や基本的人権等を通じ全人間的形成の育成に努める。 | 1通 | 60 | | ○ | | |
| ○ | | 家庭福祉論 | 児童・家庭の実態を把握し、児童・家庭に対する支援を理解する。また、児童・家庭福祉に係わる法・制度についても理解を行う。 | 2後 | 30 | | ○ | | |
| ○ | | 法学 | ①相談援助活動と法（日本国憲法の基本原理、民法・行政法の理解を含む）との関わり。②成年後見制度。③日常生活自立支援事業。④成年後見制度利用支援事業。⑤権利擁護に係る組織、団体の役割と実際。⑥権利擁護活動の実際。 | 2前 | 30 | | ○ | | |
| ○ | | 社会学 | 社会福祉活動に携る上で有用であると考えられる社会学的な視点や概念を再学習すると同時に更に深く掘り下げることによって、社会に生起する現実を理解し、そこで生じる様々な問題に対する方策を考える力を身につけることを目的とする。 | 2前 | 30 | | ○ | | |
| ○ | | 社会福祉行政論 | 社会福祉法とそれを支える国や地方公共団体の役割、社会福祉基礎構造改革や地方分権による制度の変遷についての講義をとおして行政の実際を理解する。 | 2後 | 30 | | ○ | | |
| ○ | | 公的扶助論 | 生活保護制度及び関連分野の組織、専門職とその連携のあり方について理解させる。 | 2前 | 30 | | ○ | | |
| ○ | | 地域福祉論 | 今日の社会福祉のメインストリームである「地域福祉の推進」について、地域福祉の基本的概念と理論について学習を深めるとともに、地域福祉推進の関係機関、団体、専門職等への理解を深め、さらには地域福祉実践としての地域ネットワーク構築に向けた方策の考察を深めていくこととする。 | 2通 | 60 | | ○ | | |
| ○ | | 福祉事務所運営論 | 福祉事務所の組織や機能を論じ、業務内容、社会福祉主事、査察指導員等の実際の業務内容、ケース処理、他の機関との連携を理解させ、福祉事務所運営の現実を論じる。 | 2前 | 30 | | ○ | | |

| | | | | | | | | | | |
|---|--|--|-----------------|---|----|----|--|---|---|---|
| ○ | | | 社会保障論 | 現代日本の社会保障制度について具体的な内容を知り、またどのような問題があるかを理解し、さらにどのような対策があるかを考える。 | 2通 | 60 | | ○ | | |
| ○ | | | 社会福祉援助技術論Ⅱ | さまざまな社会福祉実践を通じて社会福祉専門職として身につけるべき、相談援助における理論と方法、価値そして関連知識・技術等について全体像を捉え理解する。 | 2通 | 60 | | ○ | | |
| ○ | | | 社会福祉援助技術演習Ⅱ | 相談援助の知識と技術に係る社会福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。 | 2通 | 60 | | | ○ | |
| ○ | | | 社会福祉援助技術現場実習Ⅱ | 相談援助実習の実践を社会福祉施設等の現場で行い、実践的な技術・知識の修得を行っていく。 | 2前 | 80 | | | | ○ |
| ○ | | | 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ | 実践を通しての学びの場である実習期間を有効に活用し、効果的な実習ができるよう、また専門職のあり方と自己覚知をめざす。 | 2前 | 30 | | △ | ○ | |
| ○ | | | 介護技術 | 介護とはどのようなことなのかを理解し介護の知識と方法を身に付ける。 障害を持つ人の日常生活を尊重し自立的な生活ができるようにするには、どのような働きかけを行えばよいか、実技を交えながら介護技術についての理解を深める。 | 2通 | 60 | | △ | | ○ |
| ○ | | | 社会福祉演習Ⅰ | 実習後の事後指導において、相談援助実習において獲得した特殊具体的(スペシフィック)な体験を社会福祉にかかるとなる広範(ジェネリック)な知識へと変換できるよう指導を行っていく。 | 2後 | 30 | | △ | ○ | |
| ○ | | | コンピュータ実務Ⅱ | MOS取得を目標に掲げ、それを通して、ビジネススキルとして必須のWord、Excelについて即戦力となる技術の習得を目指す。 | 2通 | 60 | | △ | | ○ |
| ○ | | | 経済学 | 現代経済の機能や役割について学ぶことを目標として、社会に生じる様々な問題について理解を深めていきたい。 | 3通 | 30 | | ○ | | |
| ○ | | | 社会福祉施設経営論 | 社会福祉基礎構造改革の進展に伴い、社会福祉施設においても従来の措置制度から介護保険制度・利用契約制度へと変化してきている。競争の原理が導入されるなかでの社会福祉施設経営のあり方について理解する。 | 3通 | 60 | | ○ | | |
| ○ | | | 社会福祉援助技術論Ⅲ | 社会福祉士の役割と意義を学ぶ中で、相談援助の理念、相談援助に係る専門職の概念と専門職の倫理について理解する。 | 3通 | 60 | | ○ | | |

| | | | | | | | | | | |
|---|--|--|----------|--|--------|----|--|---|---|--|
| ○ | | | 保健医療サービス | 保健医療サービスが利用者（患者）のQOL（生活の質）の向上に貢献できるように、他の専門職との連携・協働をどう進めるかを理解する。また、保健医療サービスを支える制度・施設資格の他、チームアプローチの理論と実践事例について学習していく。 | 3 後 | 30 | | ○ | | |
| ○ | | | 社会調査の基礎 | 社会調査の意義・目的の理解を行う。また、社会調査の技法として、量的調査・質的調査について理解する。 | 3 前 | 30 | | ○ | | |
| ○ | | | 就労支援サービス | 生活のしづらさに直結する、就労問題について、現状把握とその支援にあたる社会資源について学びを深めることを目標とする。 | 3 前 | 30 | | ○ | | |
| ○ | | | 更生保護制度 | 相談援助活動において必要となる更生保護制度並びに更生保護を中心に刑事司法、少年司法に係る各分野の団体、組織、専門職との連携について理解する。 | 3 前 | 30 | | ○ | | |
| ○ | | | 社会福祉演習2 | 高齢者福祉制度、介護保険制度の理解を行うことを中心とし、その他、介護の概念や介護過程における技法や介護予防の考え方を理解する。 | 3 通 | 60 | | ○ | △ | |
| ○ | | | 社会福祉演習3 | 障害者に係わる各種法律・制度を理解するとともに、障害者の生活実態を理解する。 | 3 通 | 60 | | ○ | △ | |
| ○ | | | 社会福祉演習4 | 児童・家庭の実態を把握し、児童・家庭に対する支援を理解する。また、児童・家庭福祉に係わる法・制度についても理解を行う。 | 3 通 | 60 | | ○ | △ | |
| ○ | | | 社会福祉演習5 | 人体の基礎となる構造と機能を理解する。疾病の概要について理解を深める。疾病とともに生活する患者の専門職としてのかかり方を理解する。保健医療サービスを構成する要素を理解し、チーム医療としての社会福祉士の役割を学ぶ。 | 3 通 | 60 | | ○ | △ | |
| ○ | | | 社会福祉演習6 | 社会福祉、福祉政策、社会政策等の社会福祉を取り巻くさまざまな周辺社会環境について学びを深め、相互の関係性そしてそれらが社会福祉サービス利用者にとどのように結び付いているのかという視点を養う | 3 通 | 60 | | ○ | △ | |
| ○ | | | 社会福祉演習7 | 「社会保障」と「生活保護制度」について扱う。社会保障については、全体像を把握し、社会保障の意義とあり方、今後の課題について理解し、生活保護制度については、制度の内容とわが国の低所得者対策についての基本的なことがらを理解することを目的とする。 | 3 通 | 60 | | ○ | △ | |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---------|--|--------------|----|--|---|---|---|
| ○ | | 社会福祉演習8 | コンピュータ実務。ビジネススキルとして必須のWord、Excelについて即戦力となる技術の習得を目指す。 | 3通 | 60 | | △ | | ○ |
| ○ | | 社会福祉演習9 | 権利擁護と成年後見制度を理解する。更生保護制度を理解する。 | 3前 | 30 | | ○ | △ | |
| | ○ | 福祉研究Ⅰ | 課題の設定に応じたグループ学習とディスカッション形式をとる。また、レポート作成、研究発表などを通して、全体の理解を促す。 | 1通 | 60 | | ○ | | |
| | ○ | 福祉研究Ⅱ | 課題の設定に応じたグループ学習とディスカッション形式をとる。また、レポート作成、研究発表などを通して、全体の理解を促す。 | 1通 | 60 | | ○ | | |
| | ○ | 福祉研究Ⅲ | 課題の設定に応じたグループ学習とディスカッション形式をとる。また、レポート作成、研究発表などを通して、全体の理解を促す。 | 2通 | 60 | | ○ | | |
| | ○ | 福祉研究Ⅳ | 課題の設定に応じたグループ学習とディスカッション形式をとる。また、レポート作成、研究発表などを通して、全体の理解を促す。 | 2通 | 60 | | ○ | | |
| | ○ | 福祉研究Ⅴ | 課題の設定に応じたグループ学習とディスカッション形式をとる。また、レポート作成、研究発表などを通して、全体の理解を促す。 | 3通 | 60 | | ○ | | |
| | ○ | 福祉研究Ⅵ | 課題の設定に応じたグループ学習とディスカッション形式をとる。また、レポート作成、研究発表などを通して、全体の理解を促す。 | 3通 | 60 | | ○ | | |
| | ○ | 福祉技術Ⅰ | フラワーデコレート講座。フラワーデザインの意味、目的を知り、花を生活に積極的に取り入れられる様にその技術と資格を修得する。 | 1 2 3通 | 60 | | ○ | △ | |
| | ○ | 福祉技術Ⅱ | ミュージックセラピー講座。福祉の観点からミュージックセラピーを学習する。ミュージックセラピーとは何か、福祉現場で、あるいは医療現場でどのように活かされているのかなどを学習する。 | 1 2 3通 | 60 | | ○ | △ | |
| | ○ | 福祉技術Ⅲ | アロマセラピー講座。アロマセラピーの理論学習・精油を使ったクラフト作成。アロマセラピーが福祉、医療現場でどのように活用されるのかも学ぶ。 | 1 2 3通 | 60 | | ○ | △ | |
| | ○ | 福祉技術Ⅳ | 介護報酬請求事務技能検定講座。介護保険制度の基礎知識と請求方法を理解し、介護報酬請求事務の資格取得をめざす。 | 1 2 3通 | 60 | | ○ | △ | |

| | | | | | | | | | | |
|----|---|--|---------|---|------------------|----|--|---|---|--|
| | ○ | | 福祉技術V | バルーンアート講座。バルーンアートの基本技術から応用技術を身につける。バルーンアートを通してのコミュニケーションの回り方、バルーンアートの指導者としてレクリエーション等にどう取り入れ進行していくのかを理解していく。 | 1 2 3 通 | 30 | | ○ | △ | |
| | ○ | | 福祉技術VI | ペーパークラフト講座。折り紙の歴史や基本形を理解しそれを基に老化防止や機能回復の一環として指先の運動、すべての指を使うことで脳を効率的に鍛え直観力、創造力を養う応用作品を制作。 | 1 2 3 通 | 30 | | ○ | △ | |
| | ○ | | 福祉技術VII | 福祉住環境コーディネーター講座。福祉関連の専門性を重視しつつ、住環境整備全体を高年齢者や障害者の満足するまでにコーディネートする能力を養う。福祉住環境コーディネーター検定3級および2級資格取得を目指す。 | 1 2 3 通 | 60 | | ○ | △ | |
| 合計 | | | | 55 科目 | 2430 単位時間 (単位) | | | | | |